

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 24日

事業所名 ぽぽデイ名塩駅前

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	0	活動スペースを目的別に区切り、活動しやすい空間づくりを行っている。	今後も物の配置を工夫するなど、活動スペースを工夫していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	4	4	0	今年度は個別にも対応できるような多めの人数の職員配置を行った。	職員の人数が十分配置され、欠席がたくさん出た日には職員の人数が多い日もありました。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	1	バリアフリー化できるところはすべて改修を行いました。	今後もバリアフリーの視点を大切にしながら、環境・設備を考えていきたいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	0	職員が参画できるようにすべての職員が意見できる場を毎週設けている。	サービス担当者会議や日々の打ち合わせなどを通じて、職員が参画しながらすすめていけるようにしたいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1	1	西児連に参加し、業務改善を行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	研修の機会を2か月に1回以上行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	2	0	サービス担当者会議や日々の打ち合わせでアセスメントの機会を頻繁に設けるようにしている。	今後も職員らが参画しながら分析を行い、保護者や利用者のニーズが繁栄された支援計画を作成していきたいと思います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	1		入所時にアセスメント用のアンケート用紙に記入いただいているが、必要があれば今後アセスメントツールの使用を検討していきたいと思います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	2		今後はよりチームで行っていければよいと考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3	0	ニュースポーツを取り入れるなど新しい分野も取り入れたりしている。	プログラムに偏りがないように今後も工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	5	0	平日、休日、長期休暇と状況に応じて活動を設定している。	時間を持って余すことがないように、いろいろな活動を提供できればと思います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	2	0	個別活動と集団活動の場面を想定しながら支援計画を作成しています。	個別活動と集団活動の場面を想定しながら支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	0	利用者が早く登所する日などは打ち合わせの時間が十分に取れないが、隙間時間を見つけて伝え合うようにしています。	学校休業日は打ち合わせが簡単にはなってしまうが、通常は打ち合わせを行って確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	2	時間をとることが難しいが、緊急を要するものはその日のうちに行ったり、翌日に振り返りを行うことや、記録を共有して振り返えられるようにしています。	終了後に振り返りができないことがあるため、情報共有ファイルを作成するなど全員に早く伝わるように努めていきたいと思います。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	0	定期的なモニタリングを行い、日ごろの打ち合わせなどで必ず利用者の近況を確認したり、課題を共有しながら必要性を判断しています。		

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	2	0	複数組み合わせながら偏りのないようにしています。	職員会議でガイドラインの総則の基本活動を改めて確認し職員らで共有しました。
----	------------------------------------	---	---	---	--------------------------	---------------------------------------

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	2		医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、保護者を通じて主治医と連絡がとれるようにしたいと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	1		ケース会議に出席したり、当法人内にこども園があるので、送迎時に担任と情報共有をすることができています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	0	相談支援専門員を通じて行っています。	要請があれば直接連携をしたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	1		今後研修の機会を設けられればと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	7	毎年児童館に問い合わせを行っています。	コロナで実施できていません。以前は児童館を利用できていたので、制限が解除されれば児童館を利用していききたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3	0	北部会に参加しています。	北部会での内容をさまざまな職員にも共有できればと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	2		以前は行っていましたが、コロナで現在行っていません。今後については未定です。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	0	入所の際に行っています。	入所時以外にも、利用者が相談しやすい雰囲気づくりや、送迎時や面談の時などで日ごろからお話できるようにしていきたいと思います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0		送迎時や面談でお話していますが、さらに保護者の方から相談しやすい雰囲気づくりをしていきたいと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	3	保護者会は行っていますが、近年はデイの運営方針などを発信することが主となっています。	今後どのような形で行えるか考えていきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0		ぼぼデイだよりを発行して配信しています。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	0	送迎時や面談などで直接お子様の様子や思いを伝えたり、利用時には保護者の思いが伝わるよう支援しています。	デイでのお子様の様子やお子様からの発信を保護者に伝えたり、保護者の方の思いをお子様に伝えられるようにしていきたいと思います。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	7		地域住民を招待する取り組みは行えていません。今後は、利用者ニーズなど必要があれば検討していきたいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	3	0		今後、より周知していきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4	0		現在まで身体拘束を必要とする事案がありませんが、今後必要となった時を想定していきたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	1		保護者からの聞き取りを行っています。医師の指示書については使用する方向ですすめたいと思います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0		